

西溪校から市立病院へ“感謝”のメッセージ

9/24[Fri]~



▲西溪校から市立病院へのメッセージ

東原庁舎西溪校2階北側の窓に多久市立病院に向けて「病院ではたらくみなさんありがとう」のメッセージが掲示されています。

児童会・生徒会で構成されている西溪会の給食保健委員会が企画し、新型コロナウイルスと最前線で戦う医療従事者のみなさんへ感謝の気持ちを表したものです。

児童・生徒からのメッセージに多久市立病院の医療スタッフは「温かいメッセージに感謝の気持ちでいっぱいです。大変励みになっています。エールに応えられるようこれからも頑張ります」と話しました。

また、多久市立病院の窓にも西溪校に向けてお礼のメッセージが掲示されています。

西溪会給食保健委員を代表し、委員長の西山さくらさんからメッセージをいただきました。



▲企画した西溪会給食保健委員のみなさん

多久聖廟をきれいに清掃

10/2 [Sat]

例年秋季釈菜に向けて行われ、今回で9回目となる「多久聖廟周辺合同美化活動」（主催：多久市観光協会）が実施されました。昨年は新型コロナウイルス感染拡大を受けて中止となり、2年ぶりの活動に。

当日は雲一つない良い天気の中、28団体約300人が参加され、多久聖廟周辺のごみ拾いや草刈り、掃き掃除などが行われました。

美化クラブ代表の南里カチ子さんは「コロナ禍の折ですが、伝統の秋季釈菜を前に多久聖廟はさらに気持ちの良い風が吹く素晴らしい場所になりました。多くのおみなさんのご協力、ありがとうございます」と笑顔で話されました。



▲参加者のみなさんの協力によって聖廟周辺はきれいになりました

樋口純裕選手がW杯初優勝！

10/4 [Mon]



▲樋口選手（中央）、佐賀県山岳・スポーツクライミング連盟会長 宮原敏明さん（左から2人目）、同連盟副会長兼ヘッドコーチ 樋口義朗さん（左から1人目）が表敬訪問されました

9月4日(土)にスロベニアのクラニで開催された、スポーツクライミングワールドカップのリード最終戦で、東多久町出身の樋口純裕選手（所属：佐賀県山岳・スポーツクライミング連盟）が初優勝され、多久市を表敬訪問されました。

樋口選手は「当日のコンディションは良く、競技中には観客の大きな歓声を聞くこともできました。今回の優勝は大きな弾みになったので、これからも最高の結果を残していけるように頑張ります」と力強く話され、横尾俊彦市長は「素晴らしい快挙を成し遂げられ、本当におめでとうございます」とお祝いの言葉を贈りました。

なお、樋口選手は年間世界ランキング3位と、自身最高の成績を収められています。